

【令和7年度 保健体育科授業改善推進プラン】

保健体育科で身に付けさせたい力・目指す生徒像

- ① 生涯にわたって運動に親しみ、豊かなスポーツライフを実現できる資質や能力の育成
- ② 課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自他を思いやる力の育成
- ③ 生涯にわたって、心身の健康を保持増進し、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力の育成

-----以上の3つの目標を達成するために以下のことを重点的に取り組む-----

- ・運動やスポーツに興味や関心をもたせる授業の工夫や、一人一人の能力の差異があっても、達成感や成功体験を多く実感できるような、学び合いの活動を積極的に行う。
- ・課題解決能力の育成を図るために、教師側が知識を刷り込んでいく授業ではなく、生徒自らが考えて学習できるような学びの場を設定する。
- ・保健分野や体育理論との関連性を明確に示し、自ら運動することの重要性を学び、基礎体力の向上を図る。

学習状況及び課題

	1 学年	2 学年	3 学年
学習状況	・楽しんで授業に取り組む姿勢がある。 ・運動に対して、前向きに活動できる生徒が多いが、苦手意識をもっている生徒もいる。	・授業の進め方について理解して、積極的に行動できる生徒が多い。 ・安全に授業に取り組む姿勢がある。 ・正しい体の動かし方を理解しようと努力して、実践しようとする生徒が多い。	・授業の進め方について理解し、率先して行動できる生徒が多い。 ・運動を苦手とする生徒もいるが、どの生徒も一生懸命取り組む姿勢がある。 ・自分で得た体験や経験を、学習カードにまとめることが苦手な生徒が多い。
指導上の課題	・安全面の配慮事項を伝え、緊張感をもちつつ規律ある中で楽しい授業を目指す。 ・苦手意識をもっている生徒が意欲的に活動できるよう声掛けを行う。	・積極的に授業に参加する生徒が多いが、その一方で意欲的に活動できていない生徒も混在している。生徒一人一人の課題に合った学習方法を明示する。	・運動が好きな生徒が多い。そのため、運動が苦手な生徒の居場所づくりを意識して、楽しさが実感できるようなアプローチを積極的に行っていく。

改善プラン

	1 学年	2 学年	3 学年
学習面	・体を動かすだけでなく、思考できる発問を取り入れ、考える習慣を身に付けられるようにする。 ・得意不得意に関わらず、仲間と協力して課題を解決できるようにする。	・各運動、各種目の魅力や特性をより効果的に理解できるように、学習者用端末を活用してデジタル教材を事前に配布するなど、予習や復習ができるように環境を整える。 ・生徒自身が主体となる活動を多く取り入れる。	・自他ともに課題解決ができる手段として深い学びができるよう、学習者用端末を上手に活用できる環境を設定していく。 ・得意不得意に関わらず、仲間と協力して課題を解決できるようにする。
指導面	・安全第一の授業を常に心掛ける。 ・授業のねらいを明確に示す。 ・各種目において、ペア学習又はグループ学習を取り入れ、生徒が自ら考えられる楽しい授業展開を目指す。	・安全第一の授業を常に心掛ける。 ・授業のねらいを明確に示し、生徒が自ら考えられる楽しい授業展開を目指す。 ・各種目でゲームを行う際に、正規のルールに固執することなく、柔軟に設定して全員が意欲的に活動できるように工夫する。	・安全第一の授業を常に心掛ける。 ・授業のねらいを明確に示し、生徒が自ら考えられる楽しい授業展開を目指す。 ・各種目でゲームを行う際に、正規のルールに固執することなく、柔軟に設定して全員が意欲的に活動できるように工夫する。

評価

- ① 授業アンケート結果による達成度評価
- ② 体力テストの結果考察
- ③ 定期テスト観点別学習状況による評価